

スマホ紛失

不正利用阻止の措置を

(2014年8月18日掲載原稿)

携帯電話やスマートフォンには、さまざまなデータが大量に保存されているため、紛失や盗難被害に遭った場合の不安やリスクは非常に大きくなります。

特に電話帳の個人情報や、保存している写真が悪用されると、その被害は自分だけではなく、友人、知人にまで及びます。また、不正に使用され、高額な利用料金を請求される可能性もあります。

もし、紛失や盗難が発生したら次のような点に注意してください。

1. 電話会社などが提供している遠隔ロックサービスを使って不正利用を防ぐ。
2. 端末の位置情報検索サービスが使える場合はそれで探す。
3. 迅速に電話会社に連絡し、通信回線の停止手続きを行う。ただし、停止すると遠隔ロックや位置情報の検索はできなくなるので、順序を間違えないように注意が必要。
4. なくした場所を所轄する警察署や交番に届け出るとともに、施設や乗り物でなくした場合には、管理する事業者にも問い合わせる。
5. 紛失後、新しく携帯電話を購入する場合は、電話会社や警察に届けられていないか確認する。警察に「落とし物」として届けられた場合、警察は電話会社に連絡し、電話会社が契約者を確認した上で、書面などで契約者に通知するため、その連絡に数日間かかるときもあります。

日ごろから紛失や盗難に備えておくことも大切。普段から自分で設定できる端末ロック機能などを活用したり、紛失や盗難時に利用できる電話会社のサービスや機能を確認し、必要に応じて加入・登録しておくのも良いでしょう。